

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「国民の未来は私たちの手に」

清瀬市立第四中学校 3年 石川 若菜

私は今まで税金のことについて全く考えたことがありませんでした。税金なんて誰か偉い人が勝手にやってくれることだと思っていました。今回の課題も宿題だったので嫌々始めました。ですが、自分が今まで何も知らなかったこと、知ろうともしなかったことがとても恥ずかしくなりました。そして怖い気持ちにもなりました。

一番ビックリしたのは日本の借金の多さです。約 1200 兆円。国民一人あたり約 1000 万円です。日本は先進国なのでお金持ちなのかと思っていましたが、一番借金をしていることを知りショックを受けました。今の便利な世の中がこうした借金で成り立っているとしたら、とても複雑な気持ちです。

例えばアルバイトをして 3 万円稼いだとします。そうしたら 3 万円は使えるわけです。これが普通だと思えます。でも国家予算を見ると違います。国家予算は 110 兆円くらいです。今回の税収が過去最高で 70 兆円を超えるということですが、110 兆円を使うのに 70 兆円では足りません。おかしいと思えます。でもそういった状態を長い間繰り返してきていることを知りました。私は収入以上のお金は使ってはいけないと思えます。

国の支出について気になったことが二つあります。

一つは防衛費が増えていることです。年金や医療のお金は増えていますが仕方がないことだと思えます。人を守る、ということはこういうことだからだと思えるからです。戦闘機や戦車は、人を守る物ではないと思っています。戦争や争いを望んでいる人などいないと思えます。お互いが互いの思いや考えを理解する努力を重ねることに力を入れるべきで、戦闘機や戦車を買うことに力を入れるべきではないと思えます。もう一つは文教及び科学振興費が思ったより少ないことです。戦争や争いが起こらないようにするには、お互いの気持ちを理解したり、お互いの国の歴史や文化を知ったりすることが一番大切だと思えます。そういった教育にもっとお金をかけるべきではないかと思うのです。しっかりとした子どもたちが大人になれば戦争にもならないし間違ったお金の使い方もしなくなり、世の中が上手くいくのではないかと思うのです。

今回の課題を通して、これから税のあり方について考えることはとても大切なことだと思えました。私たちの生活や命に直接関わることだからです。日本国憲法の勉強をした時、国民一人一人が国を作っていく、ということを学びましたが、その意味が今回わかったような気がします。私たち国民が何も考えなくなってしまうたら、国がダメになってしまうと思えました。良い国にするのは、国民一人一人がしっかりと考え力を合わせることだと思えました。人として間違ったことをしないよう、自分にできることから頑張りたいと思えます。